

1月4日から小林新監督を迎え、新たなスタートをきりました。

部員の中には、最初少し戸惑いもあったようですが、小林監督の考えを徐々に理解し、内容の濃い練習ができ、成果も確実に上がってきています。

高校2年生にとっては現役生活もあと半年ほどで終わってしまいます。悔いを残さないように、監督の教えを守り、一日一日を大切に頑張ってもらいたいと思います。

今後、部の情報などを伝えるために、硬式野球部通信「武士道」を不定期ですが発行することにしました。ご意見等ありましたら、遠慮なく言って頂ければ幸いです。

#### <部の理念>

新たなスタートをきるにあたり、部のベースとなる「部の理念」を監督と相談して、右記のように決めました。

勝負の世界ですから勝つことを目標にやるのは当たり前ですが、監督も私もただ勝てばいい、強ければいい、野球がうまくなればいいという考えは持っていません。

一番大切なことは、野球部の活動を通して人間的に成長してくれることです。

野球部に入ってヒットがたくさん打てるようになった、守備が上手くなった、速い球が投げられるようになった、というようなことは野球をやっている間は価値のあることかもしれませんが、卒業して野球から離れたら、その価値はなくなってしまいます。それよりも、野球部に入って礼儀やマナーが身についた、忍耐力がついた、苦しいとき辛いときこそ頑張れるようになった、というようなことは野球を辞めた後も、一生涯生きてくるものです。

理念をよく理解し、目指す人物像に少しでも近づき、かつ良い成果も出せるようにお互いに頑張ってくださいましょう。

\* 野球部は我校の中でも一番大変な部だと思います。その厳しい環境の中でも、勉強と頑張っている部員がたくさんいます。すばらしいことだと思います。言い訳をせず厳しい強さは、将来社会人になっても必ず生きてきますし、ものすごい武器になります。大変道を成し遂げ、精神的に強い人間になってほしいと思います。

\* 野球部員で1月18日(月)飛田給と三鷹駅前の清掃活動を行いました。地域の方が声をかけ、とても良い評価をいただきました。今後も定期的に行う予定です。「人のためになること」のために、いろいろな人から愛され、応援されるチームをみんなで作りましょう。

